

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

新規受託項目

- [50112] PD-L1 (22C3) 胃癌《IHC法》

受託開始日

- 2024年6月3日(月)



PD-L1 (22C3) 胃癌《IHC法》

本検査は、HER2陰性の胃腺癌または食道胃接合部腺癌患者に対する抗PD-1抗体「ペムブロリズマブ（商品名：キイトルーダ®）」の適応を判定するための補助検査です。

免疫組織化学染色（IHC法）により、胃癌組織検体におけるPD-L1の発現状況を調べます。

検査要項

項目コード	50112
検査項目名	PD-L1 (22C3) 胃癌《IHC法》*1
検体量	未染スライド 5枚 (4~5 μm厚)*2 [容器番号：20番]
保存方法	常温
検査方法	免疫組織化学染色
報告様式	CPS<1 1≤CPS<10 CPS≥10 判定不能 ※上記の病理判定と組織所見をご報告いたします。
所要日数	6~8日*3
検査実施料	2700点*4 ([N005-3] PD-L1タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製)
判断料	130点(病理判断料)
備考	*1：ご依頼の際は『病理組織(特殊染色・免疫染色)依頼書』をご使用ください。 *2：スライドは剥離防止コートスライドガラスをご使用ください。標本の固定は10%中性緩衝ホルマリンが推奨されています。スライド枚数については、再検査用の検体も含んでいます。 推奨固定時間：12~72時間 *3：所要日数に再検査の日数は含まれません。また、パラフィンブロックでのご依頼の場合は別途日数がかかります。 *4：抗PD-1抗体/抗悪性腫瘍剤「ペムブロリズマブ(キイトルーダ®)」投与の適応を判断することを目的として行った場合に、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定できます。

参考文献

日本胃癌学会「切除不能進行・再発胃癌バイオマーカー検査の手引き」第1版.